

# 週間漁海況情報—第26号

平成26年6月30日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

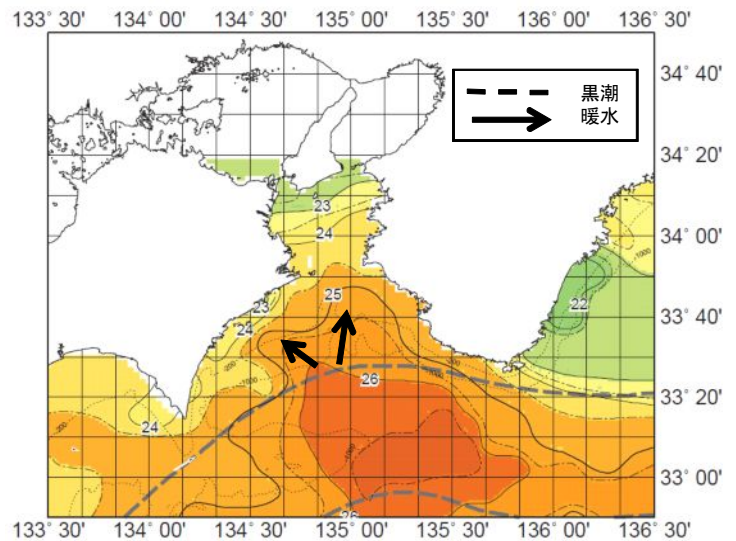
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.6.30）を示した。

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖で接岸している。

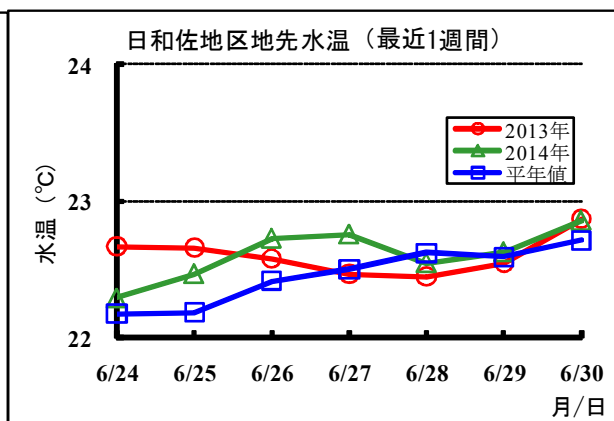
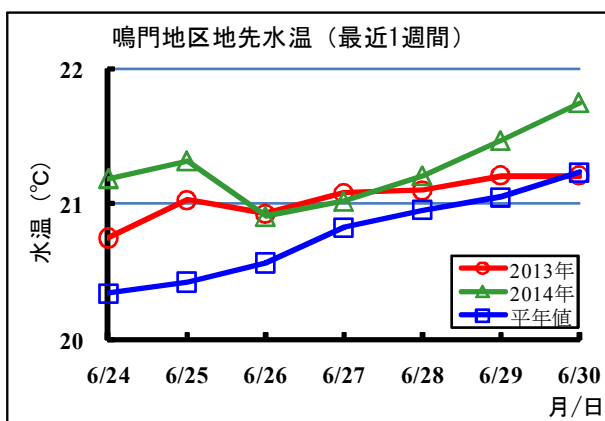
黒潮本流の表面水温は、24～26℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で21～22℃台、紀伊水道では22～24℃台、海部沿岸は22～24℃台である。紀伊水道外域から海部沿岸及び紀伊水道への暖水波及がある。



漁業調査船「とくしま」で6月12、16、19日に行った海部沿岸海区の海洋観測では、0～10m層で「やや高め」の23.0～22.9℃、20～30m層で「高め」の22.7～22.3℃、50～100m層で「やや高め」の20.8～17.4℃であった。

### 海部沿岸海区観測結果

観測日		水 温						塩 分					
		表層	10m	20m	30m	50m	100m	表層	10m	20m	30m	50m	100m
6/12, 16, 19	今年値	23.0	22.9	22.7	22.3	20.8	17.4	33.8	34.0	34.1	34.2	34.4	34.6
	平年偏差	1.2	1.4	1.5	1.7	1.4	0.7	0.1	0.1	0.0	0.0	-0.1	0.0
	前年偏差	-0.7	0.1	0.2	0.1	-0.2	-0.7	-0.3	-0.2	-0.2	-0.2	-0.1	0.0



地先水温 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の20.9～21.8℃、日和佐地区は「平年並み」の22.3～22.9℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の22.6～23.8℃で推移した。

\* 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

\* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

## 2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で小主体にアカムツが0.8トン（1日1隻当たり15kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸でイワシ類が7.8トン（同1,114kg）、小主体にサバ類が0.6トン（同87kg）、マルソウダが0.7トン（同97kg）、シイラが6.6トン（同949kg）、イサキが0.6トン（同88kg）、小主体にケンサキイカが0.3トン（同42kg）水揚げされた。

釣り：紀伊水道で特大主体にタチウオが0.3トン（同7kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが13.2トン（同142kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2014年6月23日～2014年6月30日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	52	787	15	小主体
大型定置網		イワシ類	7	7,795	1,114	
		サバ類	7	610	87	小主体
		マルソウダ	7	679	97	
		シイラ	7	6,645	949	
		イサキ	7	617	88	
		ケンサキイカ	7	294	42	小主体
釣り	紀伊水道	タチウオ	37	263	7	特大主体
パッチ網		シラス	93	13,175	142	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の6月24日～6月30日には、海部沿岸では、延縄で、大・中主体にアカムツが1.7トン、ニベが0.5トン、小型定置網で、マメ主体にマアジが0.8トン、ウルメイワシが0.8トン、小小主体にアカカマスが0.3トン、トビウオ類が0.2トン、大型定置網で、マメ主体にマアジが0.3トン、マルソウダが0.9トン、小主体にゴマサバが0.9トン、紀伊水道では、パッチ網で、シラスが46.0トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の21～22℃台、日和佐地先で「平年並」～「やや高め」の22～24℃台で推移する見込み。